

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立浅野川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920-0207

金沢市立須崎町チ 42 番地

E-mail : asanogawa-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 192 名 女子 183 名 合計 375 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

金沢市立浅野川小学校

[はじめに]

本校は、金沢市の北部に位置し、昭和58年4月に開校した。全校児童は379名、教職員は24名である。学校のすぐそばには浅野川が流れ、自然豊かな環境の中で、地域の人々の協力を得ながら学び、地域の自然や、金沢の伝統を重んじる豊かな心を培っている。

ユネスコスクールの認定5年目を迎え、伝統や文化に関する調査や体験学習、学校間交流学習により、校区や金沢市のすばらしさを捉え直し、さらに大切にしようとする思いや姿を育成する。

大好きな校区・じまんの金沢を広めよう

1 ユネスコスクールとしての取組

3年

【伝統文化教育】

『私たちの町ってすてきだよ』

地域に伝わる盆踊り大河端音頭や伝統的な行事を知り、全校にその由来や踊りを守り伝えたいという思いをもった。また校区を走る浅野川鉄道を見学体験し、乗客が減少している事実から、「浅電をもっと利用して欲しい」という願いをもち、電車内に年賀状を展示するなど、実践活動を行った。



大河端音頭の踊りを覚えて運動会でおどろう!



減っている乗客を何とか増やしたいな。交流相手にも伝えるよ。



フィリピンに浅野川電車の壁画を描いて送ろう

自分の校区の歴史や盆踊りについて、理解し、地域の方が大切に守り伝えてきた思いにふれることができた。「昔から伝わる盆踊りや、大好きな自分達の町の電車を守りたい」という願いを、地域の人や金沢市立田上小学校の3年生、外国の交流相手に伝えることで、自分達の校区に伝わる伝統や文化をもっと大切にしていきたいという思いをもつことができた。

4年

【伝統】

『出会って学び、伝えよう ふるさとの偉人』

ふるさと偉人館を見学して、金沢には様々な分野で業績を残した人が多くいることを知った。校区の偉人「高光一也」について、作品や資料、高光記念館の見学、家族への取材等を通して詳しく調べた。また、校内新聞の掲示や花園小学校との学習交流会を通して、全校や他校へ発信した。

ふるさと偉人館見学。



高光一也のことがわかったよ。校区にこんな偉人がいたんだね。

偉人の業績や生涯を調べる中で、一人の人間としての生き方を学んだ。新聞やパワーポイントには、地域の偉人に対する憧れの気持ちや感動したこと、自分達の先輩であることを誇りに思う気持ち等が書かれ、一人一人が「もっと調べたい、考えたい」という追求意欲をもって調べ、交流相手校へ発信することができた。



花園小学校に伝えたよ。

5年

【環境教育・伝統文化教育】

『地産地消の加賀野菜』

加賀野菜の歴史や由来、作り方等、7種類の加賀野菜を育てながら、興味をもって取り組むことができた。また、近江町市場での加賀野菜の買い物や、お店の方へのインタビュー等、自分たちで料理をして食べることで加賀野菜のすばらしさを実感することができた。NHK ニュース番組作り体験では、「加賀野菜のすばらしさ」の番組を作り、校内に発信することができた。

「知りたい・育てたい・食べたい・伝えたい」という児童の思いから、加賀野菜に興味をもって活動することができた。実際に作り、食べたことで、生活の中で加賀野菜を意識する児童も多くなった。また、ニュース番組作りでは、国語科や社会科での学習ともつなげながら、加賀野菜の良さを工夫してまとめることができた。

金時草・へた紫なす

五郎島金時などが収穫できたよ



加賀野菜を買って、料理して食べたよ。お店の方に加賀野菜のすばらしさを教えてもらったよ。



6年

【伝統文化教育】

『金沢の「良さ」を調べて、他の地域や外国の人に伝えよう』

金沢の有名な場所、伝統文化などを調べ、和菓子体験、加賀友禅体験や金沢めぐり等を通して、伝統を守り続けている職人のこだわりや金沢のよさについて考えた。金沢が伝統や文化を大切にしていることをまとめ、パンフレットを作成し、輪島市鳳至小学校と交流することで金沢の良さを伝えることができた。

伝統文化体験や金沢めぐり、校区に在住する加賀友禅作家との描画体験学習など、自分たちが実際に体験することで実感の伴う学びとなった。その学びが、金沢の伝統文化の次の課題を考える姿に育った。金沢市の良さを「調べる」「体験する」「まとめる」「発信する」の一連の活動を通して、改めて地域に対する誇りと地域を愛する心をもつことができた。



さすが、職人さんの技!!

まいどさんから金沢について色々教えてもらったよ。



2 成果と課題

① 持続可能な社会の構築に向けた新たな行動等について

- ・ 全学年において、体験活動を大切にしながら取り組んできた。地域の大河端音頭、校区を走る電車、校区に在住する陶芸家や加賀友禅作家の偉人からの学びを通して、学習課題を設定し、学びを追究していくことができた。
- ・ 地域の人々、市内や市外、外国の小学生との交流学習活動によって、地域の伝統や文化について理解し、自分たちに何ができるのかを考え、行動につなぐことができた。例えば3年生では、「校区を走る電車がなくならないように、乗客を増やしたい。」という願いの下、電車の中に年賀状を展示するなど、児童が主体となる活動を実施することができた。

② 他校への情報の発信、ネットワークづくりについて

- ・ 3年、4年、6年生では、学年のテーマについて取り組むために、交流相手とじかに自分たちの実践を発表し合い、お互いの地域の伝統や文化の素晴らしさについて交流し合った。その結果、自分たちの地域のよさ等を改めて捉え直すことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）